

北斗晶さんの乳がん手術



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内
 科入局。平成7年、尼崎市で「長
 尾クリニック」を開業。外来診療
 から在宅医療まで「人を診る、総
 合診療を目指す。医学博士。近著
 「平穏死・10の条件」「胃ろう
 という選択、しない選択」はいず
 れもベストセラー。関西国際大学、
 東京医科大学客員教授。57歳。



「がんの基礎知識」シリーズ⑨

元プロレスラーでタレント
 の北斗晶さん(48)が乳がん
 で、右乳房全摘出手術を受け
 られました。北斗さんは毎
 年、乳がん検診を受けていた
 のですが、胸に痛みを感じて
 病院を受診し、乳がんが判明
 しました。

ステータスIIIに近い、ステータ
 シIIだと告げられたそうで
 す。「乳がんの5年生存率は
 70%だけど、脇のリンパ節に
 までいくと50%」という説明
 を受け、全摘出手術を決断さ
 れたと、ご自身のブログで語
 っておられます。

不利益も知った上で乳がん検診を

私は、今年2月に放映され
 たフジテレビ系の終活をテ
 マにした特別番組に解説者と
 して出ましたが、北斗さんも
 出演されていました。番組で
 は、ステータスIVの乳がん
 抗がん剤治療を拒否している
 京都在住の女性の日常生活を
 紹介していました。

その半年後、北斗さんに2
 枚の乳がんが発見されるとは
 思いませんでした。北斗さん
 は、主治医とよく話し合った
 結果、手術を選びました。ま
 た、術後の抗がん剤治療によ

る脱毛に備え、髪を切ったと
 聞いて驚きました。北斗さん
 は5年先、10年先も生きるこ
 とを考え、乳房全摘出手術と
 抗がん剤治療を考え方を変え
 られたのです。

がんは大きければ言えば60
 代、70代の病気ですが、乳が
 んだけは年齢分布がまったく
 異なり、40〜50代に多いのが
 特徴です。乳がん検診は、視
 触診と「マンモグラフィー」
 というX線検査で行われま

北斗さんはそのVTRを見
 て、「私だったら乳がんが発
 見されても、治療せずに放置
 する」と明言されました。
 番組の司会をされていたS M
 APの中居正広さんが「がん
 放置療法」に興味をもってお
 られ、その影響があったのか
 もしれません。私は「早期発
 見だったら絶対治療すべきで
 す」と番組内で話し、収録後
 に自分の本を渡しました。

乳がん検診 40歳以上の女性に対して2年ご
 とに視触診とマンモグラフィーによる検診を行
 う指針が平成18年に厚生労働省より通知された。乳が
 ん検診の受診率は、40〜69歳で34・2% (25年) と、
 欧米などの70〜80%台よりずっと低い。一方、日本人
 の乳がん死亡者数は増えており、26年は1万3240
 人だった。

乳がんもあるのです。マンモ
 グラフィーで陽性でも、細胞
 検査では陰性のこともあり、
 過剰医療と受け止められるこ
 ともあります。また、頻繁に
 レントゲンを浴びると放射線
 被ばくの問題もあります。

た。ただし、マンモグラフィー
 には盲点もあり、その見落と
 しを乳房エコーで補う方法も
 あります。ある調査による
 と、20〜50代の女性の半数は
 乳がん検診を一度も受けてい
 ません。必要性を感じながら
 受けていない理由は、お金か
 かる▽時間がない▽年齢的
 に早い▽受け方がわからない
 い、などでした。

自分ですら、乳房を触って
 しこりを探すことも大切で
 す。乳がんは自分で見つけら
 れるがんなのです。北斗さん
 の闘病記を、多くの人に参考
 にしてほしい。彼女の抗がん
 剤治療が奏功し、元気な姿を
 再びテレビで見られる日を楽
 しみにしています。

自分で時々、乳房を触って
 しこりを探すことも大切で
 す。乳がんは自分で見つけら
 れるがんなのです。北斗さん
 の闘病記を、多くの人に参考
 にしてほしい。彼女の抗がん
 剤治療が奏功し、元気な姿を
 再びテレビで見られる日を楽
 しみにしています。